



無所属

川口 啓介

学校施設修繕予算が不十分 24



問 学校施設の老朽化が進行しており、修繕や改修工事の予算が不十分と考える。市長の見解を伺う。

答 市長 学校施設については、5月に外壁落下が発生した東中学校をはじめ、いくつかの学校を視察して老朽化の状況を確認した。また、市民からもさまざまな改修の要望をもらっており、施設の修繕や改修工事の予算は学校環境改善等のために重要であると認識している。これまでも限りある財源の中で適切な予算配分に努めてきたが、今後はこのたびの東中学校の事案を踏まえ、しっかりと学校施設の整備予算を編成するよう努めていく。

☞ 学校施設修繕の考え方

☞ 伊佐沼周辺整備の考え方



日本共産党

池浜 あけみ

中小企業賃金引き上げ支援 26



問 今年度の全国の最低賃金は1121円、埼玉県は1141円となったが、国の支援策は周知不足、埼玉県の直接支援はない。事業者との意見交換で把握した中小企業の状況は。

答 産業観光部長 意見交換では、主な経営課題として、昨年に引き続き、物価高騰の影響による人件費の高騰や人材確保といった意見の他に米国における関税の影響やITの活用等に関する意見があった。市が行っている景気動向調査では、賃上げを実施していないが39.5%で最も高く、次に、定期昇給を実施したが28.6%、ベースアップを実施したが20.0%という回答となっている。

☞ 最低賃金引き上げの支援 ☞ 産後ケアの充実

☞ 学習障害への対応



日本共産党

川口 知子

生活保護への偏見なくせ！ 28



問 偏見や差別を払拭するために「生活保護は国民の権利です」と市民に周知してほしいが、市の考えを伺う。

答 福祉部長 市としても、生活保護の申請は国民の権利であることを生活保護のしおりに明示して生活福祉課の窓口や市民センターに配架するとともにホームページにも掲載しているが、今後も広く周知できるよう努めていきたい。



☞ 生活保護行政の改善

☞ 困難を抱えた女性支援

☞ 久保川の河川改修



れいわ新選組

小林 透

学校給食について 25



問 今後の学校給食を充実したものにするための市の考えを伺う。

答 学校教育部長 栄養教諭や栄養士が給食の時間に学校を訪問し、児童生徒と食材の話や食事の重要性、大切さなどの食育指導を実施している。また、体育科や家庭科、特別活動の時間に生活習慣の育成や食生活に関する指導を行うなど、学校教育活動全体で食育を推進している。

質と量の確保を前提として、児童生徒にさまざまな機会を捉え、給食についての思いや希望を聞くとともに、他市の給食内容も調査研究し、給食の充実につなげていきたいと考えている。

☞ 学校給食

☞ 外来生物による作物被害



日本共産党

今野 英子

公共交通の利便性の向上を 27



問 川越シャトルやかわまるの拡充を求める声が多くある。市民が公共交通等を利用することで、環境負荷の軽減につながると考えるが、利便性の向上について市の見解は。

答 都市計画部長 公共交通を中心とした集約型都市構造の形成を推進することにより、温室効果ガス排出量の削減が図られ、環境負荷の軽減に資するものと考えている。一方、燃料価格の高騰や運転手不足など、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増していることから、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、川越市総合交通計画の策定を進めており、交通ネットワークの充実や利便性向上の観点も踏まえながら関係団体等と議論を進めていきたい。

☞ 人と環境にやさしい街

☞ 就学援助の拡充



日本共産党

柿田 有一

農業生産を増やす取り組み 29



問 コメ不足が叫ばれる中、国の政策の影響で農業産出額は本市でも減少している。市長は学校給食に意欲があり税も投入されるが、農業に力を入れて取り組むか。

答 市長 農業は、本市の重要な産業の一つであり、将来にわたって発展させていきたいと考えている。農業者支援として肥料価格購入に対する支援を新たに実施しているが、担い手の育成・確保や生産性の向上、地産地消、付加価値の向上など農業施策にも力を入れて取り組んでいく。また、川越産農産物を学校給食で活用することについては、食育の視点からも重要であるため、地産地消の方策としても進めていきたいと考えている。

☞ 持続可能な農業と食

☞ DXと市の事務、委託